

善意を福祉に結ぶ

「かけ橋」

中央市善意銀行は、社協の管理のもと、「ご寄付いただいた金銭や物品等の「善意」を福祉に結ぶ「かけ橋」として、中央市の地域福祉活動推進のために大きな役割を果たしています。

「この善意銀行を大きく支えているのは、「世の中の役に立ちたい。困っている人をたすけたい。」といった、住民みなさまの善意の心です。また、社協では生活改善の一環と



チャリティ募金を善意銀行で預かりました
～第1回中央市チャリティゴルフ大会
千草カントリークラブ(H20.8.30)～

平成20年度中央市善意銀行の収支状況

収入

本部・支部	善意の預託(6月)	一般預託	収入金額
山崎支部	2,670,248	2,667,653	5,337,901
一宮支部	1,525,926	6,509,461	8,035,387
波賀支部	737,095	2,488,181	3,225,276
千種支部	535,811	1,461,844	1,997,655
本部		1,162,601	1,162,601
20年度預託金合計	5,469,080	14,289,740	19,758,820
その他		12,207	12,207
前年度繰越金		11,031,390	11,031,390
収入合計	5,469,080	25,333,337	30,802,417

支出

払い出しの内容	支出金額
小地域福祉活動助成金(149自治体)	4,537,050
福祉教育協力校助成金(31校)	1,190,000
福祉関係団体助成金(5団体)	737,200
ボランティアグループ活動助成金(120グループ)	2,672,000
家屋火災等災害見舞い(5件)	85,000
葬儀用折りたたみ椅子(50脚)	205,150
福祉学習貸出し用車いす(3台)	75,000
簡易テント購入費(1張)	119,000
車いす移送専用車両購入費(1台)	2,300,000
交通安全看板「飛び出し坊や」購入費(12体)	81,600
「介護者のつどい」など地域福祉事業へ	4,892,750
「ボランティア養成講座」などボランティアセンター事業へ	5,009,500
「無料法律相談」など総合相談事業へ	471,000
出会いサポート事業へ ※1	882,000
お通者クラブ事業へ ※2	299,000
配食サービス事業へ ※3	2,223,000
その他善意銀行運営経費	201,845
支出合計	25,981,095
収入合計	30,802,417
支出合計	25,981,095
差引残高	4,821,322

※1:市内の未婚の方の出会いを応援する事業
※2:高齢者の閉じこもりを防いだり、体力、気力の衰えを防ぐための事業
※3:ひとり暮らし高齢者等へお弁当を配達する事業

して、「ご家庭で、香典返しやお見舞い返しの品を贈ることに代えて、善意銀行への預託をお願いしています。そして、これらの金銭や物品の預託に対し、感謝の気持ちをこめて、この広報紙の「やさしさありがごとく善意銀行だより」のコーナーでお名前を紹介していきます。どうか、みなさまのお気持ちを善意銀行にお寄せ下さい。(本部・一宮支部 波多野好則)

(本部・一宮支部 波多野好則)



車いす移送の専用車(左)と「飛び出し坊や」(右)
～20年度 善意銀行の払い出しより～

「善意の預託」を

お願いいたします



ほらんちゃん

社協では、6月1日の「善意の日」にちなみ、6月1カ月間を善意推進月間としてボランティアキャンペーンを展開します。

期間中は、毎年のごとで恐縮ですが、『善意の預託袋』を自治会長様を通じ、みなさまの家庭へお配りしますので、善意銀行への預託にあたたかいご協力をお願いいたします。



街頭における善意の日の啓発
～ジャスコ山崎店(H20.6.2)～